

# 「おいしい水 苦小牧」のP・Rを

今日は、苦小牧市の観光親善大使ハスカップレディとして活躍されている藤澤みゆきさんをお訪ねしました。

藤澤さんは、ハスカップレディに選出されたときの記者会見で、「苦小牧のおいしい水をP・Rしたい。」と観光親善大使としての抱負を述べておられますが、苦小牧の水道水にどのような思いをお持ちなのか伺ってみました。藤澤さんは、生粋の苦小牧っ子で、苦小牧以外では生活したことがなく、毎日飲んでいる水道水を特に意識したことはなかったそうです。

たまたま市外の親戚の家で水道水を飲んだときに、普段自分が飲んでいいる水とはずいぶん違うことに驚き、初めて苦小牧の水道水のおいしさに気付いたそうです。

また、このたびのハスカップレディに応募することを決めてから、苦小牧をもっと詳しく知ろうと勉強している中で、世界の優れた製品を発掘、顕彰

することを目的としたベルギーのモンドセレクションで2年連続金賞を受賞した苦小牧の地酒のラベルに「原水に苦小牧市の水道水」と堂々と書かれていることに大変驚き、「水道水でお酒を造れて、そのお酒が世界的に評価されていることに感銘を受け、苦小牧市の水道水のおいしさを改めて認識した。」そうです。

昭和60年に、当時の厚生省の「おいしい水研究会」が人口10万人以上の全国198都市を対象に行った調査で、苦小牧市の水道水は、おいしい水道水の都市「32市のうちの1市に選ばれました。このおいしい水道水の源は、樽前山の伏流水。

樽前山麓に降った雨や雪解け水が、長い年月をかけ自然ろ過され、静かに浄化されながら炭酸ガスやミネラルを含む「おいしい水」となります。

これからも観光親善大使として、札幌や東京でのキャンペーンをはじめ、

たくさんさんの活動が予定されており、多くの人に会う機会を捕えて「冷たくておいしい苦小牧の水道水をたくさんの方々に伝えたい。」とお話されました。

また、東京で活躍されている苦小牧出身者の集い「東京とまこまい会」のお手伝いの際には、「ふるさと苦小牧のおいしい水をぜひ飲ませてあげたかった。」と水道水のペットボトルがないのをとても残念がっておられました。

最後に「苦小牧のおいしい水道水は、市民のとても大きな財産です。いつまでも大切に守り続けたいですね。」と結ばれました。



ハスカップレディ  
藤澤みゆきさん

## カレンダーを差し上げます



北海道広報コンクールの広報ポスター部門で入賞した、上下水道部自慢のポスター「おいしい水 苦小牧」を、昨年に引き続きカレンダーにしました。おいしい水を毎日実感して暮らしましょう。

ご希望の方に差し上げます。自由にお持ち帰りください。

- 作成枚数 5百枚
- 配布場所 市役所正面玄関案内前  
のぞみ出張所  
勇払出張所
- 配布期日 12月8日(火)

※無くなり次第終了とします。